

## 非財務ハイライト

### CO<sub>2</sub>排出状況

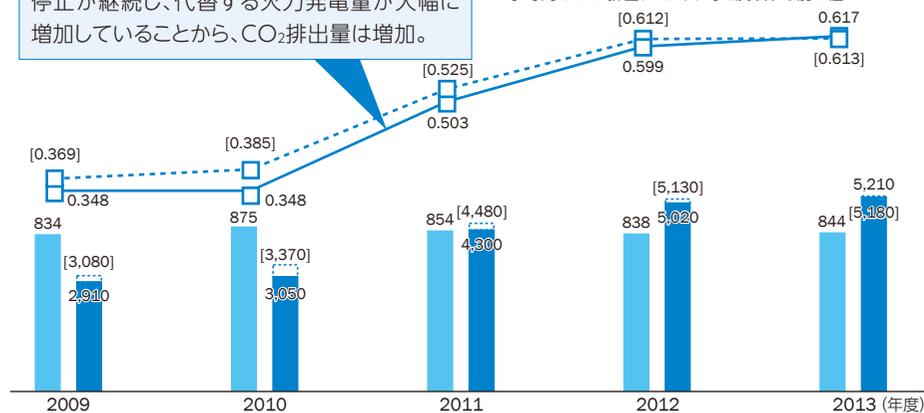
当社は、電気の供給面(原子力発電の活用、再生可能エネルギーの開発・導入など)、使用面(当社自らの節電・省エネ活動など)の両面から地球温暖化対策に取り組んでいます。

※クレジット等の反映とは、CO<sub>2</sub>排出クレジット取得による調整、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)及び太陽光余剰買取制度に伴う調整を示します。当社の場合、FITに伴う調整は増調整となり、2013年度はFIT調整による減分を上回ったため反映後の値が反映前の値を上回りました。

### CO<sub>2</sub>排出量、販売電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量

東日本大震災発生以降、原子力発電所の運転停止が継続し、代替する火力発電量が大幅に増加していることから、CO<sub>2</sub>排出量は増加。

□ 販売電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)  
■ 販売電力量(億kWh) ■ CO<sub>2</sub>排出量(万吨CO<sub>2</sub>)  
[ ]内はCO<sub>2</sub>排出クレジット等を反映する前の値\*



(注)国が定めた「事業者別排出係数の算定方法」により算定。

### ダイバーシティの推進状況

当社は組織全体の活性化による企業価値の向上を目指して、性別や年齢等にとらわれない多様な人材の活躍を支援しています。

2007年度より「女性社員のキャリア形成支援」や「意識改革、風土の醸成」に向けた取組みを更に充実させており、女性の活躍フィールドは着実に広がっています。

#### <女性社員採用率>

(4月定期採用)

2007年  
7.8%

(事務系のみ)  
30.4%

2014年  
17.4%

(事務系のみ)  
42.9%

#### <女性管理職数>

(3月末)

2007年  
47人

2014年  
66人

### PICK UP ～次世代層支援プロジェクト「九電みらいの学校」～

九州の子どもたちに、エネルギー・環境や文化・芸術等に関する学びや出会いの場を提供し、子どもたちの好奇心を刺激するとともに、感性を豊かにすることを目的に、九州各地で様々な活動を展開しています。



エコ・マザー活動  
九州各地で地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境紙芝居の読み聞かせなどを実施。  
2013年度実績: 計250回、約18,717名



出前授業  
小・中学生を対象に、当社社員等が講師となってエネルギーに関する授業を実施。  
2013年度実績: 計343回、約12,741名